

平成28年 1月26日

村上市環境基本計画等庁内推進委員会
委員長 鈴木 源左衛門 様

村上市環境基本計画等進捗管理委員会
委員長 富樫 繁春

村上市環境基本計画 平成26年度進捗状況報告について（意見）

当進捗管理委員会に意見を求められた「村上市環境基本計画 平成26年度進捗状況報告書」について、委員各位のご協力により、活発な議論を進めてまいりました。

については、当進捗管理委員会からの意見を下記のとおりまとめましたので、検討いただき、今後の環境施策を積極的に推進されるようお願いいたします。

記

1 生活環境に関すること

- 畜舎から発生する悪臭については、従来から問題視されており、最近では議会からも問題が指摘されています。悪臭対策は従来から取り組まれています。引き続き状況の監視や適正な運営管理を指導するほか、先進事例を参考に対策を講じるなど、地域住民と事業者、行政が連携して取り組みを強化徹底していく必要があります。
- ごみの不法投棄については、以前よりは軽減していますが、川や田畑などでは、未だにごみの不法投棄が見受けられることから、不法投棄防止看板を設置するなど対策を講じる必要があります。

2 地域の環境整備に関すること

- 今のところ災害には至っていませんが、豪雨による堤防越水が従来からの懸念事項となっている河川が見受けられます。河川災害の未然防止として早急に改良を進める必要があります。

3 環境保全の取り組みに関すること

- セナミスミレなど貴重な野生動植物を保護するために、侵入防止柵を設置するなど、早急な対策を講じる必要があります。
- ごみのリサイクル率が目標に大きく達していない状況です。生ごみの有効利用を促進するなど、リサイクル率を向上させる対策を検討する必要があります。

【裏面に続く】

4 環境施策の評価について

- 施策のなかで「未実施」が続いている項目が多く見受けられます。現在、作業を進めている環境基本計画の中間見直しで再検討を行い、必要に応じて施策を見直す必要があると考えます。

5 岩船沖洋上風力発電について

- 本事業の目的の一つに地球温暖化対策を掲げていますが、地球規模の問題を地域の問題として捉えていることは非常に評価されます。この事業を機に、市民の環境意識が更に高まることを期待します。
- 低周波音や景観など、事業による影響を心配する市民の声が見受けられます。これから予定されている環境影響調査においては、科学的検証に基づき実施するとともに、調査結果の情報提供を行い、市民の不安解消に努めていく必要があります。
- 陸上風力発電による健康被害が懸念されているなか、近隣の胎内市では現在のところ健康被害が確認されていません。視察も含め情報収集を継続し、広く市民に提供していく必要があります。
- 本事業については、次世代の子供達を含む将来の問題として捉え、市の将来を担う学校生徒にも広く関心を持ってもらうよう、情報発信を工夫していく必要があります。